財務会計入力事務業務 <公的研究費>					
	運用_Ⅱ-5	運用手順書			
対象物品	教室で管理している小ロ現金	にて支出したもの			
入力処理伝票	予算執行振替伝票				

版数	第1版
作成日	2024年10月31日
更新日	

## [ 目次 ]

<1>	概要	••	 ••	••	••	•••		•••	 ••••	•••••	Ρ1
<2>	業務フロー	••	 ••	•••	•••		•••		 ••••		P2
<3>	運用事務手順 .		 						 		ΡЗ

運用_Ⅱ-5	財務会計入力事務業務	運用手順

<1> 概要

財源	公的研究費の財源					
対象物品	教室で管理している小ロ現金にて支出したもの					
依頼対象部署	<ul> <li>消化器内科学教室(肝臓研究室)</li> <li>人体病理学教室</li> <li>(R6.11月現在)</li> </ul>					
提出書類	<ul> <li>・小口現金出納報告書</li> <li>・領収書</li> <li>・小口現金出納簿</li> <li>・小口現金支出伺い</li> <li>・金庫内保管現金等実査報告書</li> <li>・保管現金金種票(小口現金用)</li> </ul>					
入力処理(伝票)	•予算執行振替入力 出力帳票:予算執行振替伝票					

※運用の共通作業について

入力依頼表紙や入力依頼受付管理簿の入力などの共通作業は、本手順書に記載していません。 共通作業は、運用手順No.【運用\_共通】運用手順書を参照して実施してください。 運用\_Ⅱ-5

財務会計入力事務業務

運用手順

<2> 業務フロー



運用手順

<3> 運用事務手順

- (1) 各種書類(伝票等)の受付
  - ① 準備できた小ロ現金出納報告一覧等書類は、毎月1回、受付ファイルBOXに経理課 調達係の担当職員から クリアファイルに入れて提出されます。入力センターの責任者は受付処理後、入力作業者に入力依頼します。
  - ② 入力作業者は1教室あたり、下記の書類が揃っているか確認します。
     書類が不足している場合は、経理課調達係の担当職員に確認します。
    - a. 小口現金出納報告書
    - b 領収書(小口現金出納報告書の支払金額欄がOの場合は添付なし)
    - c 小口現金出納簿
    - d 小口現金支出伺い(小口現金出納報告書の支払金額欄がOの場合は添付なし)
    - e 金庫内保管現金等実查調書
    - f 保管現金金種票(小口現金用)
- (2) 財務会計システム 予算執行振替入力 (毎月27日までに処理)
  - 財務会計システムの「予算執行振替入力」画面にて、情報を登録し、予算執行振替伝票を印刷します。
     詳細の操作手順、入力内容については、下記の手順書を参照してください。
     予算執行振替入力の詳細登録内容:入力手順No.【入力\_II-4】入力手順書【小口現金予算執行振替】

(3) 予算執行振替伝票 入力内容のチェック

- 入力作業者は、印刷した「予算執行振替伝票」と小口現金出納報告書一覧とを比較して、入力内容に 誤りがないかチェックします。
- ② 入力内容に問題なければ、「予算執行振替伝票」右上の担当者枠に押印します。
   ⇒入力に誤りがある場合は、修正処理をして、「予算執行振替伝票」を再出力し、再度、チェックします。
- ③ 「予算執行振替伝票」を一番上にして(入力依頼表紙の次に挟む)、書類全てをクリップで止めます。
   クリアファイルに入れて、次の確認作業者に渡します。
   書類は「入力依頼表紙」-「予算執行振替伝票」-「<3>(1)② a~f」の順に留めます。
- ④ 確認作業者は、「予算執行振替伝票」と小口現金出納報告書一覧とを比較して、入力内容に誤りがないか チェックします。
  - 「予算執行振替伝票」のチェックした項目に赤ペンで「√」を記入します。
- ⑤ 入力内容に問題なければ、「予算執行振替伝票」右上の担当者の左隣の枠に押印します。 クリアファイルに書類を戻し、確定作業者(入力センターの責任者)に渡します。

※入力誤りがある場合、入力作業者に差戻しします。 誤っている項目に「ピンク付箋」を張り、誤っている内容、記入者氏名(印)を記入し、入力作業者に書類を差戻しします。 入力作業者は、誤り分から優先して修正作業、確認作業を実施します。 入力確認者は修正内容確認後、ピンク付箋は外しておきます。

- (4) 予算執行振替 確定処理
  - ① 確定作業者は、「予算執行振替伝票」と小口現金出納報告書とを比較して、入力内容に誤りがないか チェックします。
     (予算執行振替伝票に「√」の記入は不要)

## **運用\_II-5** 財務会計入力事務業務 運用手順

※入力誤りがある場合、入力作業者に差戻しします。 誤っている項目に「ピンク付箋」を張り、誤っている内容、記入者氏名(印)を記入し、入力作業者に書類を差戻しします。 入力作業者、確認作業者は、誤り分から優先して修正作業、確認作業を実施します。 責任者は修正内容確認後、ピンク付箋は外しておきます。

2 入力内容に問題なければ、予算執行振替伝票の確定処理を実施します。
 確定処理の詳細の操作手順、入力内容については、下記の手順書を参照してください。

確定処理の操作詳細手順:入力手順No.「入力\_I-1」入力手順書

③ 確定処理後、「予算執行振替伝票」右上の確定済の枠に押印します。 クリアファイルに書類を戻し、「ファイリング待ちファイルBOX」にクリアファイルを入れます。

(5) 書類のファイリング

- クリアファイルから書類を取り出します。ピンク付箋が残っていないか確認し、あれば外しておきます。 また、「入力依頼表紙」も外します。
- ② 書類の順番を確認します。
   書類は「予算執行振替伝票」-「<3>(1)② a~f」の順です。
- ③ ホッチキスで書類を綴じます。
- ④ 書類のファイリング
   ・毎月ごとにファイリングします。表紙を1枚加えて「〇月」のインデックスを付けます。
  - ・チューブファイルの背表紙は「〇年度 小口現金(教室)出納報告書等 4月~3月」

以 上